

練馬・文化の会 会だより - 号外 -

共同代表：相川充弘 岡部昭 加藤久晴 小沼稜子 古賀義弘 田場洋和
事務局：森田彦一 TEL：03-3951-4276 FAX：03-3951-0616
(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会)

会員に宇都宮さんの支援を訴えるアピール

共同代表 相川充弘、岡部明、加藤久晴
古賀義弘、小沼稜子、田場洋和
事務局長 森田彦一

会員の皆さま

随分暮らしにくくなったけど、まさか戦争なんかするはずがない—とお思いの方が多いのではないでしょうか？ところが昨年未成立した秘密保護法では、秘密についての行政側の勝手な解釈で一般市民まで自由に逮捕・投獄できることになりました。戦争反対を言うだけで、しょつ引かれた戦前の治安維持法の復活です。しかも安部政権は海外で戦争ができるようにするための集団的自衛権の解釈改憲まで日程にのせています。

「平和なくして文化なし」をスローガンに活動してきた練馬・文化の会は、こうした安部政権の暴走にストップをかけるために、共同代表で論議した結果、

「世界1働きやすい都市」・「カネと利権の東京から決別」・「だれもが元気になれる五輪開催」などを公約にかかげる日本弁護士連

合会前会長の宇都宮けんじ氏を支援することを決めました。

宇都宮氏は弁護士としても多重債務被害者の救済に力を尽くし、2006年にはグレーゾーン金利を撤廃させたり、オウム真理教の被害者弁護団長として教団と対決、さらに日弁連会長として福島原発事故の被害者の救済活動をおこなうなどの実績を積んできました。

※ このアピールは会員を何ら束縛するものではありません。

※ 練馬では宇都宮支援をしている下記2組織があります。そうした組織への協力を希望の方は下記連絡先にご連絡ください。

- ・希望のまち東京をつくる会・練馬事務所 電話3867-7411 片野事務所
- ・練馬革新区政をつくるみんなの会事務所 電話3825-7146 練馬労連

第6回フリートーク『はだしのゲン』追放許すまじ！

2月16日(日) 後1時半～5時

石神井庁舎5階会議室 会費500円 「ゲン」関連DVD上映

石子、有原、永田、片山4氏によるパネル討論

「はだしのゲン」撤去を求める陳情は、練馬区の教育委員会は憲法の表現の自由まで論議されたうえで、不採択となりました。ところが、都の教育委員会では、撤去・自由閲覧を求める請願に対し、回答書の中できるとともに応じることはできない、としたうえ

で、「はだしのゲン」は暴力的な表現など、その一部に教育上の配慮が必要」とし、「都教育委は引き続き伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度や、国旗・国歌の意義等について、児童・生徒を正しく理解に導く」の反動的

な姿勢の確認がなされた。教科書問題などの問題点も解明される。
 に対する都教委のスタンスが明らかにもされたわけで、今回のパネル討論ではこれら

(田場記)

第7回「平和」フリートークと映像の会

“反原発—地域の闘いとTVドキュメンタリー”

3月2日(日)午後2時～ 石神井庁舎第3会議室(先着36名)
 映像上映とトーク(加藤久晴・元東海大学教授) 資料代 500円

これまでに原発NOを勝ち取った窪川(高知県)、珠洲(石川県)、巻(新潟県)などで優れたドキュメンタリーが放送され、反原発の闘いを後押ししたと言われている。3月1日からの練馬・脱原発旬間の一環今回は「地方の時代映像祭」グランプリとして取り込まれる。(加藤記)

1月11日(サンライフ練馬)の新年会に38名が出席 日舞と三線のアトラクションが好評 有原氏が「はだしのゲン」問題、 永田教授が「秘密保護法」でスピーチ

1月11日(土)中村橋のサンライフ練馬で文化の会の新年会が開かれ、38名が出席しました。前半の日舞と三線のアトラクションとメインスピーチは東京芸術座の小田原さんが司会を担当、あでやかな日舞と軽妙な三線のとりあわせは出席者に好評をえました。

会場には荷口さんが製作した4本の横断幕(新年会、平和なくして文化なし・文化なくして平和なし。「はだしのゲン」追放許すまじ、秘密保護法断固廃棄)が飾られ、雰囲気盛り上げました。

会は古賀義弘・共同代表の開会挨拶でスタート。アトラクションのあと、加藤久晴・

共同代表が乾杯、有原誠治氏が「はだしのゲン」問題、永田浩三教授が「秘密保護法」問題で長めにスピーチした。その後、昨年の新入会員、劇団関係者、区議、都議などが登場、日舞。三線のお世話をした橋本氏から入会の申し出があった・・・など。

最後は小沼稜子・共同代表が宇都宮支援を訴え、お開きになった。当日は(日にちや場所間違い:あとでわかったことですが)出席の連絡があって欠席した人が10名くらいになり、こうした人が出席していれば、さらに盛り上がったものをと残念でした。

(田場記)

小岩昌子さんが「社会教育」誌に「風船爆弾」(6P)を寄稿

小岩さんが月刊「社会教育」誌14年1月号に6Pに及ぶ「風船爆弾」を執筆しています。同誌は定価700円ですが、小岩さん通しだと600円です。